



志賀高原
ユネスコ
エコパーク

信州 たかやま議会

148号

2024年10月25日

発行／高山村議会

発行責任者／西原 澄夫

編集／議会報編集特別委員会



9月定例会開催

令和5年度の決算を審議しました… 2-7

決算の内容・審議の様子・現況調査報告
令和6年度補正予算

一般質問 11人の議員が登壇 …… 7-12

『一般質問』ってなに? …… 13

研鑽を積んで議員力UP! …… 14-15

わたしの声 …… 16

10月5日、たかやま保育園の運動会が行われました。
子ども達の、頑張る姿、嬉しそうな笑顔がとても素敵な運動会でした!

9月の定例会では 令和5年度の決算の認定を行いました！

ポイント

決算の認定とは、議会が決定した予算が適切に執行されたかどうかを審査し、村民に変わって行政効果を評価することです。

令和6年9月定例会は、9月3日から20日までの18日間の日程で開催されました。

今定例会には、令和5年度一般会計決算などの認定9件の他、令和6年度補正予算の議案4件、条例の一部を改正する条例2件、陳情5件などが提出されました。

令和5年度の決算は、予算決算常任委員会にて、4日間にわたり慎重に審査を行うとともに、完了した工事の現況調査を今回初めて行いました。

一般質問は2日間で、11名の議員が登壇し行政運営に対して質問を行いました。



令和5年度 高山村の決算のまとめ

歳 入		歳 出	
50億1,932万円 (前年度比 97.5% 1億2,953万円の減額)	一般会計	48億2,520万円 (前年度比 99.5% 2,362万円の減額)	
8億9,854万円	国民健康保険特別会計	8億4,350万円	
7,862万円	診療所特別会計	7,083万円	
7億6,758万円	介護保険特別会計	7億4,573万円	
1億 15万円	後期高齢者医療特別会計	9,927万円	
6,156万円	温泉開発特別会計	5,349万円	

他2つの特別会計と上水道会計があります。
一般会計の実質収支額は1億9,412万円の黒字で、特別会計もすべて黒字でした。

令和5年度 一般会計の主な事業

『お金は何に使われた？』

電気柵維持管理交付金 (対象：区など17団体)	117万円	村道牧10号線舗装修繕工事	1,987万円
村内の各区などに有害鳥獣対策のための電気柵の維持管理費用を交付しました。		牧地区の道路の舗装修繕を行いました。	
ICT機器リース料 (R3～R8の間 毎年かかる定額のリース料)	小学校 516万円 中学校 473万円	一茶館空調設備改修工事	4,378万円
小中学校に電子黒板などのICT機器を導入しました。		一茶館の空調設備が壊れたため、修理しました。	
空き家対策事業	2,456万円	公共施設再エネ設備整備事業	2億9,491万円
空き家の有効活用を図るため購入・改修費用への補助のほか、新たに村が空き家を借り上げリフォームしたうえで賃貸物件として貸し付けを行う事業を開始しました。		ゼロカーボン社会の実現に向けて、再生可能エネルギーを活用するため、指定避難所である保健福祉総合センター（チャオル）に、太陽光パネルや蓄電池設備等を整備し、非常時にも備えられるようにしました。	

ポイント

要望が出ました。詳細はP4で

ポイント

現況調査をしました。詳細はP5で

令和6年度 補正予算 一般会計の主な事業

鳥獣害防除対策補助金	154万円
電気柵の修繕経費など鳥獣被害防除活動への補助金等です。	

蕨温泉設計委託料	220万円
わらび温泉ふれあいの湯周辺整備に向けて基本構想設計業務委託料です。	
	

基金積み立て	8,520万円
減債基金積立金……………2,000万円 ふるさと創生基金積立金……………4,520万円 社会教育施設整備基金積立金……………2,000万円 一般会計の決算剰余金を地方財政法に基づき積み立てるものです。	

公民館改修工事費等	5億6,418万円
村公民館の図書室や3階ホール等の改修を行うことになりました。それに伴う施工管理委託料や工事請負費です。	
	

林業振興一般経費	1,022万円
電柵沿いの倒木の恐れがある木の伐採などの緩衝帯整備委託料等です。	

空き家対策事業	510万円
空き家バンクへの登録が増えたため、有効活用を図るために増額します。	

条例の改正を話し合いました ……全会一致で可決

- 高山村福祉医療費特別給付金 条例の一部を改正する条例
- 高山村国民健康保険 条例の一部を改正する条例

母子家庭の母及び父子家庭の父が、後期高齢者医療保険者となっても引き続き福祉医療費の支給対象となるように改正します。

虚偽の届け出や被保険者証の返還の求めに応じない場合に対する罰則規定を改めます。

各団体から出された陳情を話し合い、意見書を送るか決めました

本定例会には5件の陳情が寄せられました。それぞれ総務文教・福祉産建常任委員会に付託されて審査され、すべての陳情が全員賛成で採択されました。

陳情が採択されたのを受けて、議員提案で意見書が発議され、全員賛成で可決し、関係機関に送りました。一部を紹介します。

- 現行の健康保険証の存続を求める意見書
- 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書

今年の12月に保険証が廃止されますが、調査では、高齢者施設等の約7割がマイナンバーカードを管理できないと答えていることや、高齢者はマイナンバーカードの申請や更新が大変という声があります。いつでもどこでも安心して医療を受けられるために、そして「誰一人取り残されない」ために、現行の保険証の存続を求めるものです。

女性差別撤廃条約が1979年の国連総会で採択され、日本も1985年に批准しました。さらにこの条約の実効性を強化し、女性が抱える問題を解決するため、女性差別撤廃条約選択議定書が1999年に国連で採択されましたが、日本はまだこれを批准していません。女性の人権保障・差別撤廃の取り組みを強化し、ジェンダー平等社会の形成を促進するため、選択議定書を速やかに批准するよう求めるものです。

ふるさと納税の減収！なぜ？

令和5年度決算をチェック！

予算決算常任委員会

総務課

問 ふるさと納税について、令和5年度にかけて減収になったことの要因と改善策は。

答弁 事業者に対して返礼品の予約時期を早めることや、寄付金使途の明確化、また返礼品を取りまとめる独自の事業者が必要と認識している。



産業振興課

問 地域計画のブロック会議ではどのような話し合いがされているか。

答弁 10年後の耕作者や後継者の様子など地元の情報を聞きながら目標地図の精度を高めていきたい。

問 営農支援センターの草刈りオペレーターの賃金の見直しを。

答弁 他市町村の状況等を踏まえ、今年度から、1時間あたり1,200円から1,650円に改定した。

健康福祉課

問 公共交通路線バスの運行補助金が令和4年度から5年度にかけて600万円増加した要因は。

答弁 バス本数等同じものの、運転手確保や燃料高騰などで増加傾向である。経費削減含めて再編計画を検討している。

問 自殺対策緊急強化事業として中学校で行っている「SOSの出し方教育」はここ数年行ってきた、子ども達に変化はあったか。

答弁 変化については今のところ把握出来ていない。養護教諭とも情報共有しながら子ども達が生活しやすい環境づくりに努めたい。

住民税務課

問 個人住民税の不納欠損処分の内容は。

答弁 村内企業に勤めていた外国の方が、国に戻られる際に徴収方法が替わることで滞納が残ってしまう。今後、企業とも連携しながら、再発防止に努めていく。

問 マイナ保険証の紛失再発行にかかる期間は。

教育委員会

答弁 短縮されたが新規でも2、3週間かかる。

教育委員会

問 子育て支援センターはスペースが狭く、もう少し広く使い勝手を良くすべきでは。

答弁 場所や利用時間について広くPRをしては。



建設水道課

問 農道等で、道路標識（止まれ）などの設置が必要な危険箇所が多いので早急に実施を。

答弁 規制を伴う標識は警察で設置する。交差点丁字、十字などは道路管理者が設置。場所を確認して有効な対策を実施したい。



P2~

定住支援室

問 空き家活用住宅について、年間1棟と決めずに、もっと拡大すべきでは。

答弁 売却を希望する所有者が多い中で、10年後の返却に理解いただけるかどうか、また耐震基準を満たしている建物であることが課題となっている。

問 オンライン移住相談会を開催しているが、移住に繋がる事例はあるか。

答弁 相談会から移住の実績はない。結びつくようにやっていきたい。

令和5年度 工事等現況調査報告

今回より、決算時に完了した主な工事等の現況を視察することにしました。

千本松地区排水路新設工事 (産業振興課)

水害に備えた排水路の新設工事で、台風などで水量が増えて、水害などの心配がある時は、地元でも弁を操作出来るようにされています。



旧土捨て場景観整備事業 (建設水道課)

なかひら地区にある旧土捨て場の石除去や整地を行い、八重桜、紅葉を植栽して自然公園として景観整備を行いました。樹木の成長が待ち遠しいです。



クリーンセンターストックヤード整備 (住民税務課)

生ごみ、可燃物以外のゴミが集められて、仕分け作業が行われます。



P2~

保健福祉総合センター 再生可能エネルギー設備等導入事業

(総務課)

新しく整備された太陽光パネルや蓄電池設備、LED照明等を視察しました。入口や駐車場が整備された様子も見ることが出来ました。



不動川護岸改修工事 (建設水道課)

河川が狭く、大雨時の流木や土砂による浸水被害を未然に防ぐため、上部に排水路が設けられていました。



決算 総括質疑

山崎 委員

1 問目 基金について

以前から基金の「貯めこみ」を指摘してきた。ある程度の基金を持つことは、必要ではあるが、内山村政8年の間に4億円ほど積みあがったことについてどう思われるか。

内山村長

本村の基金については、先行き不透明な地方財政運営が予想される中で、将来にわたって持続可能な村づくりを進めるためにも、積立て出来る余剰金がある場合には、今後に備えて確保しておくべきと考えている。

2 問目

山田温泉にぎわいの場構想について

「にぎわいの場構想」は「出来る限り既存の施設を活用し、民間活力を最大限活かし、村は側面から支援する」とあり、今進めている整備事業は「にぎわいの場構想」とは言えないのでは。

内山村長

山田牧場については観光業の再興が喫緊の課題となっており、必要最小限の範囲で村が主体となって進めることも選択肢の一つではないかと考えている。

一般会計決算 討論

反対

湯本議員

子ども医療費の1レセプト500円の個人負担は、「県などとの3者共同の制度」と、村長は唱えています。県内では、26市町村で完全無料化されています。早期に子ども医療費の完全無料化を求めます。

「第6次総合計画」などに沿って着実に事業を実施している。農業の基盤づくりや、千本松地区の排水対策など災害に強い村づくりを進めた。18歳以下の児童への価格高騰支援金、高齢者世帯等への燃料券給付などきめ細やかな事業を的確に実施している。

賛成

柴田議員

国民健康保険特別会計決算 討論

反対

山寺議員

高い国保税、法定外繰り入れを行い負担を抑えることが必要。基金が1億4千万円、これを活用して国保税の引き下げを求める。子どもの数が多いほど保険税が高くなる均等割り、独自減免を行うべきだ。

急速な高齢化、医療技術の高度化、所得の少ない方の加入などで運営が厳しい状況。療養給付費は5億3千万円、前年比で7.6%上昇、実質収支は5,500万円となっている。生活習慣病の予防、特定保健指導の一層の推進などを要望する。

賛成

黒岩議員

議案に対する各議員の賛否結果 (○賛成 / ●反対)

	議案名	表決結果	久保田雄吉	勝山正弘	滝澤聖	梨本進	沖島祥介	高井央葉	柴田弘男	湯本辰雄	松本茂	山寺秀治	黒岩清道	西原澄夫	
同意	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 概要：新たな教育委員会委員に五百住洋子さんを任命（令和6年10月24日～令和10年10月23日）することに同意を求めるもの	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 概要：人権擁護委員に引き続き小山清子さん（令和7年1月1日～令和9年12月31日）を推薦することに同意を求めるもの	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	高山中学校再生可能エネルギー設備等整備事業設計施工請負契約について 概要：パナソニック環境エンジニアリング㈱東日本支店と2億3,002万1千円で結んだ請負契約の議決	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更について 概要：令和6年12月に健康保険証が廃止されることに伴う規約の一部変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○
	高山村福祉医療費特別給付金条例の一部を改正する条例 概要：母子家庭等の母などが後期高齢者となっても引き続き支給対象となるようにする改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	高山村国民健康保険条例の一部を改正する条例 概要：虚偽の届け出や被保険証の返還の求めに応じない場合の罰則規定を改めるもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	令和6年度高山村一般会計補正予算（第2号） 概要：公民館改修に5億6,418万円など追加し、累計額を53億590万1千円とするもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度高山村介護保険特別会計補正予算（第1号） 概要：歳入歳出それぞれ2,737万8千円を追加し、累計額を8億897万8千円とするもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○
	令和6年度高山村温泉開発事業特別会計補正予算（第1号） 概要：山田温泉の送湯管改修工事や、奥山田温泉の源泉改修工事など988万円の追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度高山村上水道事業会計補正予算（第1号） 概要：紫地区内の消火栓更新工事など229万9千円の追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	令和5年度高山村一般会計歳入歳出決算の認定について 概要：千本松地区の排水対策整備事業、チャオルに再エネ設備整備事業などを実施し、歳出総額は48億2,520万3千円で前年比0.5%の減の決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度高山村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について 概要：療養給付費や高額療養費等の保険給付費が増で歳出が前年比6%増の決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度高山村診療所特別会計歳入歳出決算の認定について 概要：発熱外来受診者の減などで歳入が前年比1.4%減、PCR検査費用の減などで歳出が前年比1.8%減の決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度高山村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について 概要：地域密着型介護や介護予防サービス受給者数の増に伴い保険給付費が増え歳出が前年比5%増の決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	令和5年度高山村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について 概要：後期高齢者医療保険料の徴収額が増加に伴い、医療広域連合納付金が増となり歳入・歳出とも前年比6.8%増の決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一般質問

議案名		表決結果	久保田雄吉	勝山正弘	滝澤聖	梨本進	沖島祥介	高井央葉	柴田弘男	湯本辰雄	松本茂	山崎秀治	黒岩清道	西原澄夫
認定	令和5年度高山村温泉開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について 概要：令和2年度に借り入れた地方債を繰り上げ償還したことに伴い、歳出が前年比15.5%増の決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度高山村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について 概要：令和6年度より公営企業決算に移行することに伴い歳入で前年比28.8%、歳出で前年比37%増の決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度高山村下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について 概要：令和6年度より公営企業決算に移行することに伴い歳入で前年比23.8%の増、歳出で前年比13.3%減の決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度高山村上水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について 概要：水道事業収益は1億1,210万円で前年比2.3%減、当年度の純利益は97万円余を計上	可決認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	刑事訴訟法の改正によるえん罪被害者の速やかな救済を求める意見書提出についての陳情書 概要：えん罪被害者を速やかに救済するため再審法改正を求めるもの	採択 →意見書 全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	訪問介護報酬引き下げ撤回と、介護報酬の再改定を早急に行うことを求める陳情書 概要：訪問介護報酬引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求めるもの	採択 →意見書 全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険財政への国庫負担増額を求める陳情 概要：国民健康保険財政への国庫負担増額を求めるもの	採択 →意見書 全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し、すべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書 概要：医療や介護現場で働くすべてのケア労働者の賃上げと人員配置増につなげるよう、政府の責任で全額公費による追加の賃上げ支援策を求めるもの	採択 →意見書 全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情書 概要：現行の保険証の存続を求めるもの	採択 →意見書 全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書 概要：ジェンダー平等社会の形成を促進するため、選択議定書を速やかに批准するよう求めるもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

各議員の顔写真の横の二次元コードを読み込んでいただくと、それぞれ一般質問のYouTubeページが表示されます。お時間のある時にご覧ください。

「耕作放棄地」「遊休農地」の解消を

松本 茂 議員



「10年後の農地利用意向調査」を踏まえた「地域計画」の策定について

問 ①意向調査票の回収はどのくらい回収できたのか。
②10年後、だれ

がどの農地を耕作する「目標地図」はいつまでに完成させるのか。
③提出したが未提出といわれたとの声も聞けるがどういう状況か。

④今後「工作放棄地」「有休農地」の10年後の意向調査では遅いのではないのか。

産業振興課長

①対象件数1600件対し851件で回収率は53・2%という状況。

②目標地図の完成時期は令和7年3月末までとしています。

③意向調査の回答のうち、空欄となつている箇所があるなど、目標地図の作成に必要な情報の記載がない調査票につきましては、一律未提出扱いとさせていただきます。

④今回実施した意向調査では、あくまで10年後の予定耕



有効農地を次世代に

作者を記入した目標地図を作成するための基礎資料と位置づけており、すでに耕作放棄地となっている農地を解消するための資料とは一線を画しております。
今後とも耕作放棄地の解消に向けて、農業委員会を始め、関係機関と連携をみにつし、守るべき農地を次の世代に引き継いで参りたいと考えております。



滝澤 聖 議員



大通りの部分的だけでもきれいにしてほしい

チャオル入口「のり面」雑草管理改善を

問 「樋沢橋く牧集落に通ずる道路両岸のり面」雑草管理が必要でないか。

建設水道課長

のり面所有者は「長野県」で須坂建設事務所によると「一般的に県道の通行に支障がないよう草刈等を実施し、当該箇所については、交通への支障状況を加味し対応をしている」とのことである。

問 南側のり面の雑草防止策として恒久的な「コンクリート吹付工事等」は出来ないか。

建設水道課長

県に確認したところ「現時点で、のり面の恒久的な対策の考えはなく、県道の通行に支障がある場合は、草刈り等を実施する」との回答である。

建設水道課長

フェンス未設置の箇所は民有地ですが、県によると「道路施設として転落防止柵等の必要性については、関係者の意見を聞いたうえで判断した



樋沢橋周辺の状況

問 桜が植えてある北側のり面の管理は、高山村分は良いが県の管理分の改善は出来ないか。

建設水道課長

このり面については、山田温泉、万座温泉への通ずる玄関口でもあり、良好な環境保全していただくよう、長野県に要望する。



沖島 祥介 議員



村の最高議決会場は
いまだに扇風機？

内山村政2期8年の総括と今後の村政運営について

問 ①平成28年より2期8年間の総括と今後の村政運営について問う。②村に必要なリーダー像とは。

村長

①最重要課題とし、「あらゆる災害に強い地域づくり」と「50年先、100年先を見据えた人づくり」を柱としてきた。さまざまな災害、コロナウイルス感染症などあったが、乗り切ることができた。また、地球温暖化対策、災害時の避難所整備など危機管理体制の充実を図ってきた。

昨年8月に大怪我をした事等、様々な角度からみて引退を判断した。

②様々な個性、タイプがあつて良いと考える。

問 行政の長として、後継者を考えていると思うが、いかがか。

村長

今は、考えていない。

議場に冷房設備の設置を

問 議場は冷房設備がなく扇風機で対応しているが、村の最高議決会場にないのはいか

がなものか。



扇風機で対応している議場

総務課長

令和元年度に議場も検討したが、天井を張る工事など多額の費用が必要で整備を見合わせた。防災拠点施設や避難所を優先する方針。

問 見積もりはいくらだったのか。

総務課長

正式には取っていない。

問 冷房は下にいくので、天井を張らなくて、コストを下げる方法があるのでは。

副村長

冷房だけでなく暖房設備も合わせて今後いかにコストを下げ、整備できるか検討してきた。

村の水道水の安全性について

問 ①水道水のPFAS汚染が話題となっているが、本村の水道水の安全性について。②安全性をHPで掲載しては。

建設水道課長

①5月に17地点の水源検査を行い、16地点で検出されず、1地点で1ナノグラム検出されたが人体に影響なし。②今後、水質検査の結果をHPに掲載していきたい。

交通事故が起こらない
交差点であってほしい

久保田 雄吉 議員



コンクリート製のグレーチングに交換を

問 紫区の神明社

の手前にあるY字型交差点で大きな事故が続いています。7月に発生した事故では、車が

ガードレールに突っ込み大破して、運転していた女性が閉じ込められ、ドクターヘリで

長野市民病院へ搬送されています。ここは子どもたちの通学道路で、大きな事故が起こったら大変なことになります。

この路面に設置されているグレーチングは大型の鉄製で幅2.1m長さが2.6mもあり、下りで速度が出たままブレーキを踏めばスリップして止まれない欠陥交差点です。

すべらないコンクリート製のグレーチングに交換するなどの早急な対策を考えてもらいたい。

建設水道課長

平成31年以降これまでに4件の交通事故が発生しているが、グレーチングに起因する事故ではないと須坂警察署から聞いております。コンクリート蓋もあるが管理上の課題があり、比較的軽量で管理

しやすいグレーチング蓋を設置したものです。

下の車両等が、神明社の方へ右折する際には、相当な内回りをしない限りタイヤがかかることはなく、スリップ事故は起きないのではないかと考えられます。

ここは通学路となっていることからドットラインを設置したり、垂直に交わるT字交差点となるよう、ゼブラゾーンを表示するなど、標識や路面標示により運転者に減速を促すように注意喚起をしているので理解していただきたい。

問 対策が実施されるまでの当面の間、路面の注意を喚起する赤い三角コーンなどの設置が必要と思うがどうか。

建設水道課長

安全走行のために、他にどんな方策があるか研究するとともに、交通安全を啓発してまいりたい。

子ども達の可能性を
支える施策を!

高井 央葉 議員



タブレットによる家庭学習の推進を

問 児童生徒1人

1台のタブレットや、学校内の高速通信網環境の整備など、ICT化を進めてきた

成果と今後の展望について。①この整備による成果。②タブレットの家庭学習利用の取組み状況は。③持ち帰りが進んでいないと思われるが、要因は。④今後の展望。

教育長 ①友達と共同して考える力や発表する能力の向上など、これからの社会で活かしていくことが出来る力が培われている。②昨年度、タブレットの持ち帰りルールを作成し、持ち帰りを可能としている。③紙媒体の方が扱いやすい、家庭のWEB環境、子ども達の目や脳などへの影響、カバンが重たい等様々な要因により、宿題等での利用は全体的にあまり実施していない状況である。④家庭へのタブレットの持ち帰りは、利用が可能であるので、必要に応じて大いに利用していただきたい。

子ども達の「やりたい」が

実現できる村に

問 持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革として、部活動の地域移行が段階的に進められているが、少子化の影響が大きく、地域人材の確保が難しい地方において、課題が山積している。子ども達の「やりたい」が実現できる村にしていくための今後の展望は。

教育長

教育委員会としては、子ども達のスポーツ・文化活動が適正な活動となるよう推進していくが、協力いただける指導者を探すことが不可欠で課題。小学5年生と中学2年生の保護者を対象とした現状の活動と意識に関するアンケートを実施し、参考にしていきたい。その結果を踏まえ、国のガイドラインに合わせた形で計画の策定に向けて準備を進める。

交通弱者に優しい公共交通に
国保の資格確認書発行は漏れのないように

湯本 辰雄 議員



利便性のある村公共交通に

健康福祉課長

問 村地域公共交通計画の中で、①デマンドタクシーがあるが、利用できるのは高井中山地域。村内全域で利用できるように。②来

域で利用できるように。②来
年秋には須坂イオンモールが
開業。乗り換えなしでのお買
い物バス運行を。

健康福祉課長

高山村地域公共交通再編実
施計画の策定を進めている。

①デマンドタクシーの利用は
少ないので、村内全域への拡
大は検討したい。②路線バス
は厳しい状況。イオンモール
への買い物バスは、須坂市と
の協議も必要なので、開業後
を見極めたい。

問 朝日村に視察に行った。村
は「松本地区
交通協議会」
に参加して
いる。お買い
物バス運行
など須坂市
を含め広域
の交通協議
会設置が必
要と思つが。



デマンドタクシーの利用拡大を

国保の資格確認書発行は
確実に

健康福祉課長

検討課題とさせていただき
たい。

問

①国保加入者のマイナ
カード不所有者には、来年8
月に「資格確認書」が発行さ
れるが、再来年以降は。②新
生児の扱いは。③マイナカ
ードの電子証明書は5年が更新
期限だが、健康保険証はどう
なるか。

住民税務課長

①資格確認書の有効期限は1
年。再来年以降も手続きなしで
発行する。②新生児には出生届
と同時に、直近の7月31日まで
の資格確認書を発行する。③マ
イナカードの電子証明書は5
年間なので、保険証も有効期限
内に手続きしてほしい。

住民税務課長

問 マイナカードの所有・未
所有の区別は大丈夫か。
システム改修工事を行って
いるので、資格確認書発行に使
い、県の方針もあり、プッシュ
式で発行する。

必要とされる公共交通の
姿を考えよう

梨本 進 議員



路線バスと連携する村民バスの運行を！

健康福祉課長

問 本村の公共交
通の中心を担う長
電路線バス山田温
泉線の利用客数
が、再編前の十五
万人から現在約五
万人に減少した要因は何か。

令和4年度長電路線バス運
行委託費に、3,150万円。
5年度さらに600万円増
額。財政支出の軽減と運行体
系の見直しを求める。

健康福祉課長

村内均一料金の循環バスで
地域間格差の解消やスクール
バス、買い物バスなど目的運
行のできる、村主体の村民バ
スの運行を提案する。

村長

新型コロナウイルス感染症緊急事態
宣言の発出や幹線をYOU遊
ランドまでに改めたこと、ま
た往復41便から29便に減便し
たこと等が
利用者減少
の要因。
公共交通
再編計画で
は利用状況
や計画達成
状況を検証
し事業費の



YOU 游ランドにある表示板

農道交差点の
交通事故防止対策を

健康福祉課長

削減等検討している。
村民バスの運行は財政支出
の増大が予想されるので慎重
に検討したい。

問

同じ場所でも多発する衝突
事故。農道交差点危険個所の
把握と早急な安全対策の実施
を！

建設水道課長

ブロック行政懇談会で指摘
の場所は複数の交差点や優先
道路がわかりにくく危険なた
め、交差点マークや一時停止
の指導線などの設置で安全性
を高めたい。

農道においては車道のみ
出し駐車や、一時停止不足な
どあることから農業関係団体
や警察署、安協等と連携を図
ると共に広報誌やHP等で安
全啓発に努める。

今後の農道改良工事では警
戒標識や路面標示を活用した
道路整備を進める。

交差点危険個所の安全対策
は、今年度出来る所から実施
したい。

憩いの場所と、施設の活性化に

黒岩 清道 議員



森林スポーツ公園の活用は

問 村民の健康と福祉の施設であるはずですが、活用がされていません。

①今年からオムツが取れない子どもの入浴をお断りしていますが、子育てしやすい村としては、逆効果と感じます。ベビーバス等の対応が出来ませんか。

②昨年、公園を盛上げる組織を検討して参りたいと回答頂きましたが。
③施設を活用して、村の特産品や地場産品等の直売所の設置を検討しては。

健康福祉課長

①衛生管理上の観点から、オムツを欠かせない方については、大人も含め洗い場でシャワーのみをご利用いただき、湯船の利用はご遠慮頂いています。
②施設の活性化対策として、子ども達が集える組織の立ち上げに向けて準備を進めています。



③生産者や販売を担う団体のほか、他の課など、総合的に研究して参ります。

鳥獣被害の対策は

問 6月のクマの被害から始まり、目撃情報が多く秋の収穫時期は心配です。クマやサルは、河川を移動すると言われ、橋梁わきや河川わきの雑木や雑草の管理が必要です。

①今年の鳥獣の目撃情報状況と収穫時期に向けての対策は。
②クマやサルは、河川を移動して橋梁を利用して上がってきます。橋は通学路であり、危険を事前に回避する為に、雑木の伐採など必要では。

産業振興課長

①現在の情報では、サルは減少していますが、クマの目撃は昨年の2倍以上です。情報発信や注意喚起に努め、猟友会と連携し、パトロールなどを実施して参りたい。
②橋梁の周辺状況を確認し、須坂建設事務所と雑木の伐採について協議し、住民の安全に努めて参ります。

3期目は出馬なさるのか

柴田 弘男 議員



秋の村長選挙3期目はどうお考えか

問 首長になられて2期8年が過ぎようとしておりますが、「にぎわいの場構想」、2期目はコロナウイルスで大変ご苦労頂きました。

ご自分での公約は、まだ道半ばと思いますが、3期目こそ力の発揮どころと思っております。3期目の出馬はどうお考えか。

村長

3期目こそ力の発揮どころと、暖かな励ましのお言葉をいただきましたが、村民の皆さまのための村政の任務を果たしていくことは難しいと判断させていただき、2期目の任期を迎えた時点で退任することを決意しました。

これまでいただきました、身に余るご支援に対しまして、感謝と御礼を申し上げます。



健康福祉総合センター再生可能エネルギー



山田牧場の休憩施設



子育て支援の一層の充実が最重要課題

山 寄 秀 治 議員



1レセプト500円の負担を廃止し完全無料化に

問 子どもの医療費無料化の500円負担について、「県と市町村、受益者が支えあう制度」だとい

って完全無料化することを拒んでいる。松本市なども完全無料化に踏み切る。手数料負担を廃止し、完全無料化すべきだ。

村長 手数料を負担する制度は定着していると考えている。今後とも、子育て支援を総合的に検討する中で判断していく。

自衛隊への名簿提供は承諾した人のみにすべきだ

問 自衛隊への名簿提供について、本村の対応はどうか。

閲覧状況をホームページでの公表はどうされたか。名簿提供は同意された方にのみすべきでないか。

住民事務課長 自衛隊には、住民基本台帳を閲覧のうえ、書き写しでの対応である。

広く住民に周知する観点から、ホームページで公表する

こととした。

自衛隊への名簿提供は、法に規定された法定受託事務なので、今までと同じ対応をしたい。

国保の子どもの均等割りに村の独自減免を

問 国保税は、協会けんぽ等より高く加入者に重い負担となっている。特に子どもへの均等割りに、子育て支援に逆行する等の批判があり、ようやく就学前の子どもに限り減免が行われている。

出産ペナルティーともいえる子ども均等割りの独自減免を求める。

村長

国は、令和8年度を目標に、子ども均等割りを全額軽減する方向で検討しているの

で、国の動向を注視していく。

コロナワクチン接種の負担軽減を

問 コロナワクチン接種は、この秋から定期接種となる。経済的負担から接種を諦めることのないよう負担軽減を求める。

村長

須高三市町村で同一歩調を図り、自己負担額を1,800円とする。

地域の活性化に必要では

勝 山 正 弘 議員



高山村独自の飲食店など、個人の起業を応援する創業支援金制度はあるのか？

問 地区別（ブロック別）アンケートで高山村には飲食店が少なくないとい

った意見が多く出ていた。りんごやぶどうなどの果物のブランドは浸透しているが、年間を通じて観光客への誘致やワイン以外のお土産が少ない。村をあげての食べ物やお土産といった商品の確立が重要と思われる。

①高山村独自の起業を応援する魅力的な支援制度はあるのか。

②魅力ある支援制度は人口流出を防ぎ、働ける場所の確保が見込まれ、移住・定住者への支援につながると思うが、村の見解は。

③食のイメージは重要で、専門家のアドバイスや、行政改革の経験のある地域おこし協力隊をもっと多く採用することで、新しい村のブランドを作ることはできるのではない

村長

か。①高山村は同規模の町村と比較しても事業者が非常に少な

いのは承知している。村は平成29年度に創業支援事業補助金交付要綱を制定し、上限50万円を支援している。年間2人程度が利用している。

②制度の周知と利用の促進に努めたい。

③新たなブランドづくりは重要と考えるが、様々な課題があるので慎重に検討してまいりたい。

要望・意見

長野県のビジネス創業支援金制度は、上限200万円、補助率は1/2以内。八十二銀行の応援支援資金制度（ティクオフ）は年1%の金利で3,000万円まで融資が可能となっているが、村の50万円では少なすぎる。村が金利分を負担するとか、無利子での融資など、真剣に寄り添って、魅力ある制度にしてもらわないと、移住者も来ないのでは。ふるさと納税の返戻金を充てることも検討していただきたい。

『一般質問』ってなに？

一般質問、どうやって考えてる？

～ 第4回議会モニター会議開催報告 ～



皆さんのお話から、沖島議員は9月議会の一般質問をされました



各議員の想い、また支援してくださる村民の皆さんとの交流等により、様々

7月21日(日)に、4回目となる議会モニター会議を開催しました。
今回は、モニターの皆さんからも希望いただき、議会報146号でもお知らせした通り、「一般質問」を一緒に考えてみよう！と題して行いました。

一言で「一般質問」といっても、

行いました。

な考え方、作り方のあるものです。

作り方も各議員それぞれのため、今回は、議会活性化委員会の役員とモニターさんとでグループになって、モニターさんからの質問に答えながら、各グループで質問を作ったり、質問にするためにはどのように組み立てたら良いか、など、様々な角度から「一般質問」を考える機会となり、私達にとっても良い機会をいただきました。

今回のモニター会議では、「議会」や「議員」をより身近に感じていただけたかな、と感じております。

今後の計画では、モニターさんと議員との懇談を予定しています。モニターさんから議員に対してのインタビュウをしてみたいとご要望もいただいておりますので、それも踏まえて、モニターさんにも、村民の皆さんにも、議会を身近に感じていただき、関心を持っていただくことを目標に、後2回のモニター会議も進めていきます。



不定期
特集

議会を知って みんなで作ろう高山村！

不定期特集の2回目です。議会とは何をするところで、議員はどんなことをしているのか：現在の18期目の議会ではそこが大切と議会の『見える化』を掲げて活動してきました。

これまで

- ① 新しいモニター制度の取組み
通告書の変更・配布
- ② 一般質問の活性化
YouTube 配信
- ③ 読んでもらうことを意識した
議会報の紙面づくり
- ④ 議会報告会の開催
- ⑤ 議会のSNS発信

などを行ってきましたが、皆さんはどう感じていらっしゃいますでしょうか。

また、この9月定例会において、『議会基本条例策定特別委員会』を設置することになりました。

『議会基本条例』とは、議会運営の原則や村民と議会、議会と村長との関係等について、議会の基本姿勢を明文化したものです。その内容は、これまで村議会が積み重ねてきた議会改革の成果を集約したものでもあり、村民福祉の向上と村政の発展に寄与することを目的としています。

この議会改革に合わせ、議員報酬についても、活動に照らし合わせて協議いただくことになりました。

来年の議員選挙に向けて、今期の議会改革もラストスパートです。

けんさん 研鑽を積んで議員力UP!

議会活動報告

保・小・中の特別支援の状況

総務文教常任委員会

7月24日(水)、総務文教常任委員会にて3件の研修会を行いました。

①特別支援教育に関する研修会は、教育委員会より、保・小・中の特別支援の状況について説明をお聞きし、その後質疑、応答を行いました。

②子育て支援センターの現場視察および現況の利用状況、問題点などないか等伺いました。

③消防署高山分署にて高規格救急自動車(救急高山1号車)の導入に伴い、最新鋭の救急器材など詳しく説明をいただきました。

(委員長 沖島祥介)



最新鋭の救急車

県産材の建築物への利用

森林・林業・林産業活性化促進議員連盟総会

8月29日(木)、第29回総会は県議会議員と市町村議会議員118名が参加し行われました。令和6年度の活動スローガンは

- 一、森林の循環利用の計画的な取組みの推進
- 一、間伐や主伐後の再造林と必要な道路網整備
- 一、人材確保、育成、デジタル技術の活用推進
- 一、森林環境譲与税を活用した森林経営管理の推進
- 一、スギ人工林の伐採・植え替え・花粉の少ない苗木の生産等、花粉発生源対策の推進

としました。

研修会は「県産材の建築物への利用について」と題して、京都大学 生存圏研究所教授 五十田博氏の講演があり、建築分野での省エネ対策を背景に今後は建築基準に適合した3階建て建築物にも木材利用が促進されるのお話。

村内産のスギ、カラマツ等の利用拡大が重要と思います。

(会長 梨本進)



講演会の様子

議員のなり手不足は「住民自治の危機」

町村議会議員研修会

7月12日(金)は長野県町村議会議員研修会へ行ってきました。

大正大学の江藤俊明教授からは、『議員のなり手不足は「住民自治の危機」と題して、議会の取り組みと、住民との協働の重要性について、お話をいただきました。議員のなり手不足については、痛感する部分もあり、難しい問題だと常日頃感じておりますが、それが住民自治の危機であるという視点で見たことはありませんでした。「確かに!」と思うことが多く、また、まだまだ出来ることがたくさんあると確認することも出来ました。

月刊誌「ソトコト」の総編集長である指出一正さんのお話は『私たちはローカルで幸せを見つめる』と関係人口とリジェネラティブとすることで、関係人口と住民の交流の中で生まれる、お互いの意識の変化と、それを形にしていける仕組みづくりについてのお話をいただきました。高山村でも出来そうなヒントをたくさんいただきました。(高井央葉)



キッセイ文化ホールにて

攻める自治体「北海道東川町」

須高議会議員研修会

7月23日(火)、須高議会議員研修会を高山村議会の当番で開催しました。

講演には、『攻める自治体「東川町」』と題して、長野県立大学の中村教授にお話いただきました。財政学からみる自治体の可能性について、また、東川町のお話は、大変興味深く聞かせていただきました。

その後の懇親会では、三市町村の議会の様子などの情報共有もさせていただき、大変有意義な時間となりました。

インプットだけでなく、高山村では何が出るか、考えていきたいと思います。(高井央葉)



講演会の様子
チャオルふれあいホールにて

議会基本条例、タブレットの導入

議会運営委員会

佐久穂町は、2016年9月に基本条例を制定しています。制定にあたっては、基本条例の素案を全戸配布、住民説明会の開催、パブリックコメントも募集しています。主な内容として、政治倫理基準の明確化、委員会及び全員協議会の公開、行政側の反問権の明記などを盛り込んでいます。この研修を参考に本村議会でも議会基本条例の制定を進めていきます。

御代田町は、令和3年6月議会から紙資料とタブレットの併用を開始し、令和4年の3月議会からタブレットのみを使用しています。課題として、紙の削減にはなるが、それ以上に通信料などにコストがかかる、個人情報が含まれるファイルについては、紙資料で配布する等のルールを決めての運用が必要等でした。タブレット導入も引き続き検討していきます。(委員長 山崎秀治)



佐久穂町議会にて研修の様子(7月19日)

わたしの声

☆ 東京から駆け付けた

秋祭り ☆



宮関区

山崎 颯汰

今年の9月22日、蕨平地区にある諏訪神社秋宮で秋祭りが開催されました。当日は、奥山田地域の4神楽を奉納。私は自ら手を挙げ、地元的面神楽（ひよっこ）役を演じました。

社会人1年目の23歳。高山村出身で、今は東京で暮らしています。コロナ禍で開催が見送られてきた秋祭りが、5年ぶりに開かれると聞いて駆け付けました。

「都会に出た若者が、地元のお祭りの舞台に立つ」当然簡単なことではありません。平日は東京で働き、週末は

提灯、鳴り響く笛や太鼓の音色。会場には子どもからお年寄りまで、想像を超える多くの人が集まりました。出番の直前は緊張しましたが、あつという間でした。終わった後は達成感に満ち溢れ、またやりたいという気持ち湧いてきました。

明治時代から伝わる伝統芸能。決して1人で出来るものではありません。これまで継承してきた先輩方、そして地域の皆様のご尽力があつてこそです。この場をお借りして、携わる全ての皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

最後に、私は今高山村には住んでいません。でもそれは高山村のことが嫌いだからではありません。むしろ高山村のことは大好きです。村外で暮らし始めて、その思いは強くなる一方です。いつでも戻って来られる場所、心の拠り所として「高山村」があり続けて欲しいと思っています。

練習のために帰省。時間もお金も、体力も費やします。それでも面神楽をやりたいかったのは、幼い頃の原体験があつたからだと思えます。私は18歳になるまで高山村で過ごしていました。小さい頃はお祭りが楽しみで、何週間も前からワクワクしていた覚えがあります。当時は自宅で、面神楽の真似をしていたこともあつたようです。「いつかお祭りを盛り上げる側になりたい」、心の片隅にはこういつた思いがありました。

そして当日。煌々と光る



わくわくする提灯の明かり



面神楽の舞



子ども達が大喜びで集まるお菓子撒き



編集後記

元日の能登半島地震に追い打ちをかける非情な豪雨災害、被災された方の「心が折れそう」の声が身につきまされます。

そしてこのお祭りへの参加を通して、かけがえのない「高山村の伝統」を繋ぐ役割を少しでも果たせたのだとしたら、こんなにも嬉しいことはありません。

一日も早い復旧復興は、国の責任で行政が最優先に取り組むべき事と思います。今夏の猛暑は厳しくやつと乗越えましたが、暑さ疲れの体調不良の方が多くいようで、ご自愛ください。

国政では、党首選や総裁選が行なわれ、衆議院解散いよいよ政権選択選挙としてヒートアップしています。が、猛暑からのクールダウンと共に、冷静になって日本の将来を担う人を選びたいものです。

さて今年には高山村の村長選挙も行われます。持続可能な村づくりのために、みんなで参加、皆さん投票に行きましょう。（入稿10月初旬）

さて、結果はいかに？

（梨本進）

発行責任者

議長 西原 澄夫

議会報編集特別委員会

委員長 湯本 辰雄

副委員長 高井 央葉

委員 山崎 秀治

委員 梨本 正弘

委員 勝山 進

発行 / 長野県高山村議会
編集 / 議会報編集特別委員会
TEL (026) 214-9763

印刷 / (株)オフセット